

[自己覚知]を促す、経営の仕組みづくり

[自己覚知]経営 (Self-Awareness Management)

[自己覚知]とは

自分の役割と責任に気付くこと

[自己覚知]経営とは

経営者を含めた全従業員が
 自らの役割と責任に気付く([自己覚知]し)
 それぞれの持ち場の経営者として
 主体的・自主的に事業に関わることによって
 その持てる能力を最大限に誘発させる経営

区分	日時	講座の内容
講座の内容	第一講 令和元年 7月5日(金) 13:00～17:00	[自己覚知]経営とは何か :[自己覚知]、[自己覚知]経営の基本的な考え方を理解すると共に埼玉県卓越企業(しまむら・ヤオコー・ハイデイ日高)を事例に、その成長を支えている経営の仕組みを[自己覚知]経営の5つの要素の視点で解説します。また、企業等の持続的発展に[自己覚知]がいかに重要な関わりを持つかを識り、そして、それを「どう仕組み化していくか」の方向性を示します。
	第二講 令和元年 7月25日(木) 13:00～17:00	①経営哲学の再構築 経営哲学 …理念・社是・社訓などの全体を貫く経営に関する基本的な「考え方」 :経営判断の基軸となる経営哲学とは何かを“利他”の視点で抽象化して考え尽くします。また、既に経営哲学がある場合にはそれをベースに再構築を試みます。さらに経営哲学・経営理念を高めることの意義とその効果を知り、事例企業からその有効性をイメージし、自社への応用を図ります。
	第三講 令和元年 8月22日(木) 13:00～17:00	②組織の再設計(再認識) :経営哲学の再構築で行ったプロセスと同様、組織の再設計(再認識)においても事業を抽象化し、事業の本質的な意義・目的を深めていきます。自分の部署・部門、役職が本来持つ役割と責任を経営哲学を踏まえたうえで抽象化(定義付け)し、組織全体に機能させ、役職者の次元・視点を高められるようにしていきます。
	第四講 令和元年 9月5日(木) 13:00～17:00	③意味ある<場>の設定 :<場>の概念や効果を理解し、<場>を設けることの意味を認識したうえで、具体的・実践的な経営管理手法である自主管理経営を解説します。自主管理経営とは、<場>のひとつとして従業員の潜在能力を開発・発揮させる仕組みです。仕事をしながらにして人財育成を可能にする効果的な方法を提案します。
	第五講 令和元年 9月26日(木) 13:00～17:00	④最適執行のシステム化 :ひとつの仕組みを徹底させ、継続させ、改善させ、進化させるためには「仕組みを動かす仕組み」が必要となります。その仕組みである自主管理経営の導入事例から仕組み化の2つの要(1:個人の暗黙知が形式知化され、社内に浸透することで組織知にすること。2:全従業員で経営哲学を共有し、日常業務の中に落とし込むこと)を解説します。
	第六講 令和元年 未定(調整中) 13:00～17:00	⑤好ましい組織風土の確立 :組織風土は必然的に形成されますが、経営哲学を具現化したノーム(規範)に満たない好ましい組織風土は簡単には醸成されません。そこで、貴社にとっての好ましい組織風土づくりについて解説し、その定着・継続・進化のための方法を解説します。
経営者課程 担当教授	杉田 圭三 (すぎた けいぞう)	(講師プロフィール) 1945年埼玉県生まれ。税理士、行政書士、経営・事業承継・医業経営コンサルタント、ファイナンシャルプランナー。日本大学大学院(経営学専攻)博士前期課程修了。日本大学卒業後、民間企業、公認会計士・税理士事務所勤務を経て1979年、(株)CWM総合経営研究所を設立し代表取締役。また、TKC全国会中央研修所企画委員長、公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会副会長、同埼玉県支部支部長、一般財団法人医療・福祉・環境経営支援機構理事長、盛和塾「埼玉」代表世話人、リタネッツ事業協同組合理事長などに就任する。各業界・団体で講演活動を行い著書・論文も多数ある。

〔自己覚知〕を促す、経営の仕組みづくり

〔自己覚知〕経営 (Self-Awareness Management)

タイム スケジュール	テ ー マ	内 容
13:00	受付 12:55～	会場の都合により、受付は12:55～とさせていただきます。
13:30	オリエンテーション (30分) 13:00～13:30	前回の振り返り(初回のみ自社紹介)
14:00	レクチャー (60分) 13:30～14:30	RU-経営者課程 担当教授より、座学による講義を行います。 〔自己覚知〕経営の要諦である〔自己覚知〕の5つの要素を各回、講義形式でお伝えします。 また〔自己覚知〕経営を実践し、成果を上げている卓越企業を具体的事例としてベンチマークします。 <事例企業> しまむら・ヤオコー・ハイデイ日高等
14:30	休憩 (15分) 14:30～14:45	
15:00	ディスカッション (115分) 14:45～16:40	〔自己覚知〕経営の理論と実践事例(ベンチマーク)を学ぶことにより、〔自己覚知〕を理解した後は、貴社の永続的発展のために<5つの要素>ごとに落とし込みを行います。 落とし込みの作業は貴社だけでなく、講座参加企業間での意見交換を行うことで〔自己覚知〕経営の血肉化を図ります。
15:30		
16:00		
16:30		
17:00	まとめ (20分)	
17:30	夕食交流会 (90分) 17:00～19:00	研修会場を離れ、空気感を変えた状態で改めて、自社にとっての〔自己覚知〕経営について意見交換を図ります。 また、課外交流の「場」を通じて、〔自己覚知〕経営の仕組みづくりという共通の目的意識を持って集まった同期会としての効果も期待します。(夕食代は、出席者で割り勘になります。)
18:00		
18:30		
19:00		

申込概要

RU-経営者課程にご興味、ご関心がございましたら、RU運営事務局または(株)CWM総合経営研究所 各担当までご連絡下さい。
なお、経営者課程(全6回)の受講料 は、1社2名で30万円(税別)とさせていただきます。

(お問い合わせ先)

RU(リタネット・ユニバーシティ)運営事務局 リタネット事業協同組合 理事・事務局長 櫻井 誠
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-135 Tel:048-658-8881 Fax:048-658-8883